

Alma Mater

白 陵

第 11 号

平成 4 年 8 月 25 日 発行
発行 白 陵 会
〒676 高砂市阿弥陀町阿弥陀2260
TEL.0794(47)1675 (代)

祝 学園創立30周年



歴史を奏でる 学園全景

我が母校も、本年をもって三十周年を迎え、各期の皆さんが残してこられた足跡が着実に伝統となつて備わつてまいりました。

我々を育ててくれた母校の年輪が、振り返る事も忘れ、日々の生活に追われる自分達に遠い学生時代の姿と共に過ぎ去つた「時」を思い出させてくれるようです。

この会報を読んで少しでも母校への郷愁を感じて頂きましたら、是非一度学園並木をくぐつてみられては如何でしょうか。

Alma Mater 白陵11号

(学園創立30周年記念特集号)

- ◆特別企画「創立30周年記念座談会」……2.3.4P
- ◆白陵会顧問 故 大島先生を偲ぶ……5P
- ◆白陵今昔物語(6) 母校30年の歩み……6.7P
附 各期卒業時恩師ご芳名一覧
- ◆白陵軍団集合(5) 野球部OB会……8P
- ◆学校近況紹介……9P
- ◆平成 4 年大学合格者調べ
白陵会役員名簿 ……10P
- ◆新 企 画
OB Jr. のための白陵受験対策講座(1) ……11P
- ◆白陵会ニュース ……12P

特別企画

白陵三十周年記念座談会

テーマ「三十周年に寄せて」

出席者

三木 一正先生 (学園理事長)

大内 義博先生 (社会・校内幹事・二期生)

沼田 好道氏 (白陵会会長・三期生)

町田 直隆氏 (白陵会常任幹事・十五期生)

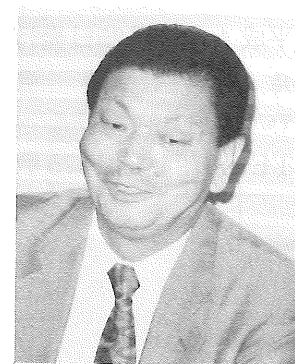
司会 吉田 達哉氏 (白陵会広報委員長・十期生)

園長先生の思い出

吉田 我々の在校中の思い出と言えはやはり園長先生のことになりますが、校内幹事でもある大内先生はいかがですか？

大内 原書の英語や夏のステテコ姿などが印象深いですが、やはり白陵＝園長ですね。私も教員生活二十三年目ですが、園長が一つのモデルになっています。今思えば、よく、あれ程エネルギーギッシュに緊張の連続の授業をされたものだと思います。

吉田 もう少し、園長先生も融通をきかされても良かったんじゃないかと思いますが、長年、園長を補佐されてきた理事長先生はどうお考えですか？



三木 一正 理事長

三木 園長は自分の全てを生徒に教えてやりたいというところがあって、ある意味では理想主義だったんですね。理想を求めて現実化しようとしてジレンマに陥る。例えば、点数が出ないと焦って余計

に厳しく生徒に接するというように。だから、本当に園長を理解した絶対的なファンと全く理解出来なかったアンチ園長派に二分される。ところが卒業後、園長が亡くなれると、そのアンチ園長だった人の半分くらいはやっぱり園長の指導を受けて良かったなと感じているんじゃないかと思う。時間が経つてみるとよく判るんですね。教育とは本来そういうものかも知れない。

沼田 卒業後、自分はこのままで成長したということを、是非、園長先生に見てもらいたいという気持ちで頑張ってきた卒業生も多いですよ。

町田 園長授業の緊張感は、実際体験した者でないと判らないですね。その思い出を共有しているからこそ卒業後の先輩後輩の付き合いも深まるんじゃないでしょうか。寮歌も共通ですし、中には在学中、白陵の美化に貢献した人も多いですよ。特に僕のような柔道部の者は、園長先生から目の仇にされ、昼は園長先生、放課後は藤田先生という具合に暖かい指導には事欠かなかった。(笑)

大内 やはり園長先生のあの迫力がなかったら、白陵はこのままでなかったと思いますよ。でも、今、もしご存命だったら悩みも多んじゃないかと思えます。

三木 全くその通りです。でも創設者はああでなければならぬんです。ところが創立当時から園長と共に歩み、園長の西洋文明への憧憬を最も熟知している浜田教頭によると「白陵は瓢箪からコマでつせ」と言う。なぜかと言うと、今や笑い話ですが、当時、外国語の私塾であった姫路学院時代、春先に多数集まった生徒が冬になると激減してしまつたので、寒くなっても生徒が減らないようにしたいと考えたのが学校(白陵)を創る動機の一つだったそうです。(笑)

吉田 それは初耳のおもしろい話ですね。この機会に是非隠れたエピソードを披露してください。

三木 「二十四発のビンタ」という話もあるんですよ。これは園長と小学校で同

級だった桃井氏（姫路で開業医）から聞いた話ですが、小6の時、あることで園長は桃井氏と一緒にひどく先生からしかられたが、桃井氏はその先生から二十四発のビンタを食らった。でも園長にビンタはこなかった。そこで自分も悪かったんだから叱ってくださいと申し出た。しかしその先生は、「桃井は姫中（現・姫路西高）を受けるから叱った。三木、お前は違うだろ」と相手にされなかった。園長はその夜、悔し涙で一晩中眠れなかったそうです。当時園長はまだ十二歳の小学生ですよ。このバネがあつたればこそ、その後、姫高、京大へと道を極められたのだと思います。この精神力が園長の園長たる由縁だと思いますよ。

吉田 園長先生のお人柄が惚れますね。園長先生のそのバネがなかったら、白陵はできていなくて、今の我々も無かつたんじゃないかと思えますね。園長先生の思い出話はそれぞれに尽きないことと思いますが、この辺りで白陵生の気質の移り変わりへと話題を移したいと思います。

白陵生の気質の変化

沼田 我々の頃は大学の自己紹介の時、出身校は、と尋ねられて他の有名高校出身者に引け目を感じたが、その点最近の生徒は堂々と名乗られて羨ましいですね。

大内 そうそう、かつて本校生が丸坊主の学生服姿で大学受験へ行って、「白陵」と言ったら、「台湾ですか？」と聞かれて絶句したという有名な笑い話がありましたよ。（笑）

沼田 でも、一期〜三期の頃は自分達が学校を造るといふ気概がありましたね。マラソンコースの設定や曾根駅での挨拶など、数々の白陵の伝統の基礎は一期生が作った。今はもう無くなったが、スキー部を創部してスキーバスを出したりしたんですよ。

大内 確かに昔は元氣者がいましたね。叱られてもスカッとしていた。最近の子は叱る時、説明が必要です。昔ほど押さえつけられていないのに、彼らは結構そ



大内 義博 先生

う感じているようです。それと、昔は旗本組と呼ばれていた白陵中出身者が今は「旧高」、公立中出身者は「新高」と呼び名も変わりました。特に「新高」のレベルは年々上がり、進学成績も抜群です。大学進学実績の上昇と共に、以前に比べ学校全体が随分と明るくなりましたよ。部活動も活発だし、今の生徒は学校生活を十分エンジョイしている感じですよ。

吉田 親の変化もあるんじゃないですか？小学校などでは欠席を届けるのに、「休ませてあげたい」などと非常識な電話をかけてくる人がいるそうですね。

大内 そうですね。確かに昔に比べて家庭での躾が不十分な子が見受けられますね。「進学校」としてのみとらえているケースもあります。

町田 親子ともそうですよ。最近の生徒は優秀だが、白陵を予備校と勘違いして選んでいるのと違いますか？それと昔は悪さをする子は見え見えだったが、近頃は隠れてやって、堂々としていない。

三木 そうですね。確かに今の白陵は理想主義を少し忘れていたような気がしますね。忘れたというより寧ろ、大黒柱だった園長を失って以後、段階的目標を達成するために理想は一時的に置いておいて一生懸命走ってきたかも知れない。それはとりもなおさず、東大・京大という数になって現れてはいるが、そのことのために一番大切な物を意識的に切り捨てながら走ってきたかも知れないと反省しています。だから三十周年はそういう意味でもう一度、本当の姿を振り返る絶好の機会だと思っています。白陵が今後、一層飛躍するかどうかの鍵はやはり人間教育そのものにあると痛感しています。

沼田 理事長は「緑の中の進学校」というキャッチフレーズで他校に類を見ない素晴らしいキャンパス整備に意欲的に取り組まれておられますが、それも今仰ったことと繋がりがありませんか。

三木 私は今盛んに「ムダ教育をやれ」と言っている。勿論、教科指導は十二分



沼田 好道 会長

に行つてのことですが。それとキャンパスもできれば、自然と建物が見事に調和した須磨離宮公園のように滝や水の流れを取り入れて広がりを持たせたいと考えています。これからは忙しい中で、自分で時間をつくる能力が要求される時代ですからね。

町田 お金や時間をかけずに心が豊かになるようなムダはいいですね。校門から櫛並木をくぐつて校舎へくるとほつとしますよ。

沼田 毎日の学校生活の中で、いい意味での精神的な余裕が生み出されるということは実に素晴らしいことですね。

町田 僕は寮生でしたが、寮の雰囲気も随分と変わったんじゃないですか？寮の食事もグルメになつたりしたとか。

大内 食事も昔は全員残さずに食べさせられた。中には園長に残すと言われてバナナの皮まで食べた者さえいた(笑)。しかし今は飽食の時代で残飯も出ます。



町田直隆氏

それでも不満は必ず出る。世間一般的に家庭の考え方が変化したのかも知れません。寮も昨年、冷暖房の空調が完備され快適な生活空間になり、寮生は喜んでますよ。

吉田 生徒の居住地地図も随分変わったと聞いていますが。

三木 そうですね。昔は播州が多かったが最近では明舞地区が多いですね。最近の入試は塾が支配しているでしょ。姫路西・淳心で安定している姫路に比べ受験競争の激しい明石以東が真剣に白陵を狙ってきます。その結果、白陵は明舞地区の学校になつてしまった。(笑)

吉田 地元がないと寂しいですね。今後同窓会もOBを中心にPRに努めさせていただきます。それではこの辺りでお互いが相手に望む今後の期待ということでもとめたいと思います。先ず、学校から同窓会への要望をご遠慮なく仰ってください。

今後の学校・同窓会相互の期待

三木 一口で言うと、早く大きく育ってもらつて本当に物心両面のご援助をいただきたい。今後はお互いが厳しくかつ甘えられるような関係になっていきたいですね。

沼田 一期生が四十五歳とまだまだ若い同窓会で、会員数も少なく、しかも全国区という組織ですが、早く学校依存の体質から脱却して一人立ちしていかなければならないと考えています。学校への要望などとおこがましいことはいえませんが、在校当時、無理矢理に覚えさせられた寮歌を今や懐かしく唱う我々としては、温故知新というか、後輩達もいずれ是非この感激を味わうことができるように在学生に考えてやってほしいと思います。我々も在校生諸君との各種交流会を企画していきたいと考えています。

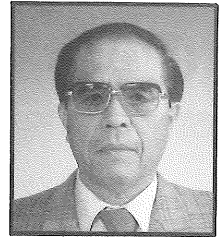
三木 三十周年を迎える今年、一期生の八木芳章氏が育友会長に就任されましたが、これにも三十年の月日を感じます。園長が亡くなられて早十年、理想を追い求めた創設者の精神を大切に、「こだわりと広がり」を目標に、時代の流れに対応できる幅の広い学校にしていきたいと考えています。十五期生で、写真家として活躍中の宮嶋茂樹氏のような独立心を持つてロマンを追い続ける姿勢の若者を育てていきたいと考えています。



吉田達哉氏

沼田 本日はお忙しい中、三木理事長先生・大内先生にお越しいただき、実に有意義なお話を聞かせていただきました。学校と同窓会とは一心同体です。我々も園長先生が仰った「白陵があらゆる意味で日本一の学校」となるように微力ながら精一杯の応援をさせていただきます。

吉田 どうも有難うございました。理事長先生・会長にまとめていただいたところで、この会を終えたいと思います。お疲れ様でした。(終)



大島 俊郎先生 逝去

(現職員・化学・白陵会顧問)

平成四年六月三十日

脳梗塞により急逝 享年六十七歳

大島先生は学校創立と同時に着任以来、三十年の長きにわたり白陵の歴史と共に歩まれ、一期・六期・九期・十二期・十五期・十八期の各学年主任として、また進路指導部長としても多数の生徒を育成され、学校の発展に大きな足跡を残されました。また私たち未熟な同窓会のため、顧問として卒業後も引き続き暖かい指導を賜っていただけに誠に残念でなりません。先生のご葬儀は去る七月一日、姫路市の飾磨大和会館において多数の学校関係者・卒業生が参列する中、しめやかに営まれました。その中で、浜田忠彦教頭先生が学校を代表され、ご霊前に捧げられたご弔辞を茲にご紹介させていただきます、会員の皆様方と共に在りし日の先生を偲び、心からご冥福をお祈りしたいと思います。

弔 辞

大島先生。無常の来る事は、水火の攻むるよりも速やかに、のがれがたきもの。と昔の人は申しました。私どもが今こうして涙の袂を列ね、お別れのことばを申し上げなければならぬなどと、僅か十日前、誰が予想致しましたでしょうか。今こうして先生の御前に立ちながら、私は九年前、亡き学園長の御霊の前で、同じ思いをしていたことを想い出しております。

先生は、学園長とご一緒に、この白陵の草創の楽しみと苦しみとを味わってこられました。先生はご自身のご意図とは別に、いつも若い先生方の中核となつていらつしやいました。学園の前途猶遠くではありませんでしたが、曙光僅かといえ、我が身を照らす思いがしておりました。ここで終つては世の信を失うでしょう。また進むには力不足の感がありました。この岐路にあつて、先生方の相談に、生徒達の指導に、花に背き月を忘れ学園長と共に歩んでこられたのが先生でありました。

ふだん口数の少ない先生はそのようなこと、余り人にお話しなさるようなこと

はございません。しかしそのお人柄はまことに玲瓏剔透、ラグビーでお鍛えになった堂々たるお体ともども、一度でも存じ上げた者は忽ちその魅力にとりつかれてしまうものをお持ちでありました。微醺を帯びて軽やかに踏まれるダンスのステップは先生の一つのお姿であります。一方緻密極まりない頭脳でもって周到に練り上げられた教案による厳正なお授業はいつまでも生徒達の語り草でありました。

先生はラグビーの名門天王寺中学から、旧制大阪高校にお進みになったと承っています。あの大高、若き日の文学者桑原武夫、哲学者野田又夫、ロベルト・シンチンゲルなどの諸先生が教授として活躍なされ、化学の福井謙一先生、保田与重郎氏などの母校でもありましたあのすばらしい学校、先生はそこで何をお学びになり、何をお感じになつていらつしやったか、今の生徒などにもつとお話しいただくべきでありました。ご自身をお語りになることの多くないお人柄、今思いますが、本当に心残りに存じます。

そして昨今の世相、殊にも少しご健康を害われましたこと数年余りの性急喧嘩の世の中で、温雅静謐のお暮しへの障りをひそかにお察し申していました矢先、この度の突然の訃報、まして数ヶ月後に三十周年の記念祝典をひかえてこの逝去、私どもは何んなに臍を噛む思いをしてもとり返しにつくものではございません。

僅か十日前のお元氣なお姿を思い、今こうしてご霊前に佇む己れを考えますと、そのいづれが現、いづれが幻とも定かならぬ感が致します。私ども、日頃余りにも「生」だけを、「光」だけを問題にして生きて参りました。世の進歩は人に「光」をもたらしたのでしようが、私どもの持つている「影」の部分の静かに眺めることを忘れていたようです。人の「生」は「死」を知つてはじめてその意味が完きものとなり、「光」は「影」をもってはじめてその姿がはつきりしてくるものでしょう。先生は恐らくその「生」において「死」の姿を、その「光」において「影」の意味をごらんになつていたのでなかつたでしょうか。

先生の物事に集中なさるあの真摯なお姿、そして時に遙か彼方に視線を移し、物思いにふけておられたお姿、それらはいつまでも私どもの心に残り、これらの生きる縁と、永くなることを存じています。

先生これからは永久に静かなところでどうぞ安らかにお休み下さい。

平成四年七月一日

白陵高等学校・中学校

濱田 忠彦

年の歩み

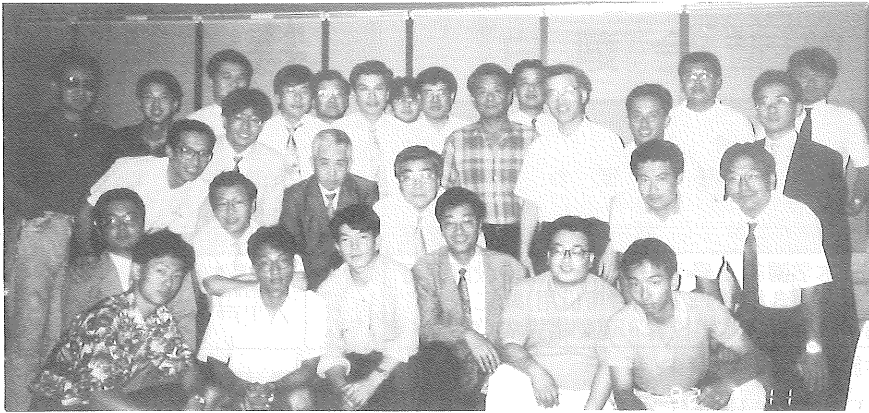
白陵今昔物語(6)

年号	学園の移り変わり 同窓会活動状況	卒業 回生 卒業 生数	卒業時の恩師(敬称略)					
			校 長 教 頭 学 年 主 任 ●印=物故者	1	2	3	4	5
昭和53年	90分授業から70分授業へ 新館校舎竣工 会員数 2,000名台	13 回生 163	●三木省吾 △吉岡 喬 △山本年雄	1 2 3	久留宮 長井利 東	4 5	中安 高田	
昭和54年	共通一次実施開始 明舞地区出身生徒急増 修学旅行北海道へ	14 回生 169	●三木省吾 △吉岡 喬 濱田忠彦	1 2 3	佐藤 △古渡 △寺田	4 5	△浦野 △加藤	
昭和55年	白陵会組織再編、1980年版白陵会名簿発行	15 回生 170	●三木省吾 △吉岡 喬 ●大島俊郎	1 2 3	高山 藤田嘉 大内	4 5	長浜 吉田	
昭和56年	会報「Alma Mater 白陵」創刊	16 回生 148	●三木省吾 △吉岡 喬 △山本年雄	1 2 3	東 中安 山本洋	4 5	高田 南坂	
昭和57年	創立20周年記念式典挙 行 白陵会館竣工	17 回生 164	●三木省吾 △吉岡 喬 △寺田真一	1 2 3	山本洋 中安 △加藤	4 5	高山 戸川	
昭和58年	三木省吾学園長先生急逝	18 回生 161	△吉岡 喬 濱田忠彦 ●大島俊郎	1 2 3	前川 △塩飽 袴田	4 5	藤田嘉 吉田	
昭和59年	2代理事長に三木一正先生ご就任 東大合格10名突破 (進学実績で県下3位に躍進)	19 回生 135	△吉岡 喬 濱田忠彦 △山本年雄	1 2 3	久留宮 南坂 芳木	4 5	長井利 高田	
昭和60年	故三木省吾先生胸像完成 成績処理にコンピューター導入 1985年白陵会総会開催 会員数 3,000名台	20 回生 167	八木誠造 濱田忠彦 中安久隆	1 2 3	高田 佐藤 馬場	4 5	小紫 山本洋	
昭和61年	岡山白陵創立10周年 第4寮竣工	21 回生 157	八木誠造 濱田忠彦 大内義博	1 2 3	長浜 △平尾 △鎌田	4 5	畔上 山本洋	
昭和62年	創立25周年記念式典挙 行 1987年版白陵会名簿発行	22 回生 168	八木誠造 濱田忠彦 △山本年雄	1 2 3	長浜 久留宮 藤田嘉	4 5	南坂 東	
昭和63年	白陵会アンケート実施	23 回生 173	八木誠造 濱田忠彦 馬場鉄夫	1 2 3	高田 南坂 長井利	4 5	中谷 △川上	
平成元年	本部管理棟竣工	24 回生 177	八木誠造 濱田忠彦 吉田 卓	1 2 3	高田 小谷 △鎌田	4 5	袴田 小紫	
平成2年	L L教室完成 東大合格30名突破、福田赴夫元首相来校 1990年白陵会総会開催	25 回生 174	八木誠造 濱田忠彦 山本洋一	1 2 3	△鎌田 長浜 宮崎	4 5	打浪 大森茂	
平成3年	東大・京大合格計50名突破 男子生徒丸刈にピリオド、長髪許可 クラブハウス竣工 会員数 4,000名台	26 回生 176	八木誠造 濱田忠彦 中安久隆	1 2 3	南坂 穂原 藤田嘉	4 5	袴田 菊崎	
平成4年	創立30周年記念式典挙 行 校舎全面改築、教室への冷暖房空調設備設置に着手 1992年版白陵会名簿発行	27 回生 181	八木誠造 濱田忠彦 大内義博	1 2 3	高田 山口 岩本	4 5	草野 長浜	

特集「白陵 30

年号	学園の移り変わり 同窓会活動状況	卒業 回生 卒業 生数	卒業時の恩師(敬称略)			
			校長 教頭 学年主任 ●印=物故者	1.2.3.4.5.6組 学級担任 △印=退職者		
昭和38年	学校法人三木学園設立認可、白陵高・白陵中設置認可 仮校舎プレハブ3棟(内2棟高砂市借用)竣工 第1回入学式挙行、本館校舎・運動場完成		●河路甲午郎 △川戸 茂			
昭和39年	高2修学旅行九州へ		●河路甲午郎 △川戸 茂			
昭和40年	別館校舎・第1寮竣工		●河路甲午郎 △川戸 茂			
昭和41年	講堂兼体育館竣工 「白陵会」発足	1 回生 121	●河路甲午郎 1 ●大島 △川戸 茂 2 △枝村 ●大島俊郎 3 △疋田 (△前島)			
昭和42年		2 回生 153	●河路甲午郎 1 濱田 4 ●釜江 △川戸 茂 2 △国司 5 △黒岩 ●西田武男 3 △枝村			
昭和43年	第2寮竣工	3 回生 213	●三木省吾 1 ●大島 4 △西村 △川戸 茂 2 前川 5 藤田嘉 ●堀 中 3 ●宮田 6 △赤松			
昭和44年	学園道路竣工	4 回生 116	●三木省吾 1 ●三戸 4 東 △川戸 茂 2 △加西 △福永利一 3 △黒岩			
昭和45年		5 回生 167	●三木省吾 1 濱田 4 △松原 △川戸 茂 2 △古渡 5 △西村 ●西田武男 3 △黒岩			
昭和46年	専願制による入試制度開始 東大合格第1号	6 回生 154	●三木省吾 1 △赤松 4 ●粟津 △川戸 茂 2 藤田嘉 5 ●宮田 ●大島俊郎 3 前川			
昭和47年	創立10周年記念式典挙行 会員数 1,000名台	7 回生 153	●三木省吾 1 △落合 4 東 △川戸 茂 2 ●長瀬 5 中安 △福永利一 3 △大森忠			
昭和48年		8 回生 113	●三木省吾 1 濱田 4 △古渡 △山本武夫 2 高山 ●山田利一 3 △黒岩			
昭和49年	武道館(柔道場)竣工	9 回生 164	●三木省吾 1 藤田嘉 4 ●宮田 △山本武夫 2 前川 5 ●粟津 ●大島俊郎 3 △赤松			
昭和50年		10 回生 173	●三木省吾 1 ●沓掛 4 東 △山本武夫 2 △大森忠 5 中安 ●長瀬秋夫 3 △加西			
昭和51年	岡山白陵高・岡山白陵中開校 第3寮竣工	11 回生 151	●三木省吾 1 佐藤 4 △寺田 △山本武夫 2 △山本年 濱田忠彦 3 △古渡			
昭和52年		12 回生 178	●三木省吾 1 前川 4 吉田 △山本武夫 2 藤田嘉 5 ●宮田 ●大島俊郎 3 長浜			

白陵軍団全員集合(5) 野球部OB会



平成四年度の野球部OB会が現役野球部の壮行会を兼ねて去る七月十一日に開催されました。

ご承知のとおり、白陵高校野球部は母校開校と同時に創部され、既に二十七期の卒業生を輩出してきました。

OB会の設立については、随分以前からいろいろと話は出ておりましたが、いざ設立ということになると、いろいろな準備も必要であり具体的に話が前進しないという状況でありました。

ちょうど2年前に白陵高校同窓会総会が開催された時に「来年こそは何とか設立できないか」ということが真剣に検討されるようになりました。

そのような状況の中で昨年五月に岡崎元監督の退職記念を野球部OBの有志一同で開催したところ、OB会設立が困難であるなら、現役野球部の壮行会だけでも何とか今年から実施しようという話になり、準備を進めていきました。

壮行会の準備を進めている中で、若手のOBからも是非出席したいという連絡もあり、ほぼ全期にわたって賛同

が得られるという状況になり、一気にOB会設立の弾みがつきました。

その後、前同窓会会長で第一期生の野球部OBであられる黒川芳一氏に出会い、OB会設立の了解を得て、昨年六月二十九日ようやくOB会設立総会と現役野球部壮行会を開催するに至りました。

そして今年も七月十一日に白陵会館での壮行会に引き続き、会場を変えてトヨタモーターでOB会総会及び、懇親会が開催されました。

壮行会では、学校側より三木理事長、八木校長先生をはじめ、野球部関係者の方々をお招きし、歴代監督（豊田先生も元野球部監督であられた）、OB諸兄が集う中、プレーボールのサインが聞こえてくるような浮き立った気持ちで現役野球部員を迎え、県大会に向けてOBから熱烈な激励が行われました。「いま、まさに本番の時、戦いの中へ」このような決意に満ちた現役野球部への壮行会の雰囲気でありました。

場所を変えての懇親会では、出席者の近況報告や、もう三十年も前のことであるが、故三木園長に野球部創部の話を持ちかけた時の先輩のご苦勞話、現役当時の試合で誰がエラーをして負けたとか、ヒットを打ったなど当時の状況を思い出しながら懐かしい思い出

話を酒の肴に時が経つのを忘れて和やかな雰囲気の中で会員同志の親睦が行われました。

そして翌日の十二日に姫路球場で県大会一回戦が行われ、前日の壮行会が功を奏し西宮北高校に七対一の完勝。「やった!」「勝った、勝った」昨年に続いての一回戦突破。続く二回戦も春の甲子園大会出場の大強豪、村野工業に敗れはしたものの4対0という惜敗でした。

現在は、野球部OB会が設立されてからまだ日も浅く、特に目立った活動も行っておりませんが、現役野球部への経済的援助や会員同志の親睦活動などを中心にOB会活動の充実を図っていく予定であります。

最後に、役員の名・期生を紹介いたします。

- | | | |
|-----|-------|------|
| 会 長 | 黒川 芳一 | 一期生 |
| 副会長 | 吉田 清和 | 一期生 |
| 理 事 | 小西 孝明 | 二期生 |
| 理 事 | 神吉 裕資 | 三期生 |
| 理 事 | 水野 資晴 | 三期生 |
| 理 事 | 秋本 隆夫 | 五期生 |
| 理 事 | 兼村 昇 | 六期生 |
| 理 事 | 浜田 充 | 七期生 |
| 理 事 | 山口 透 | 十二期生 |
| 理 事 | 若松 修 | 十二期生 |
| 理 事 | 岡野 清和 | 十七期生 |

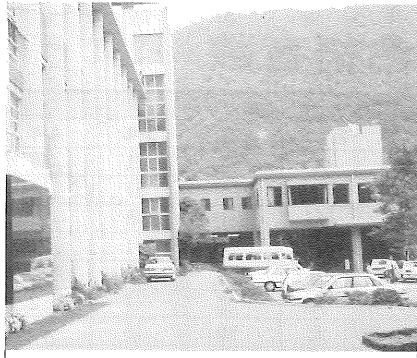
学校近況紹介……

後輩の町田君と記事取材の為、母校を訪れたのは、空梅雨の蒸し暑い七月初めだった。

校門に足を踏み入れると、昔懐かしむ感傷的な気分になるのは、この並木道のせいだろうか？

卒業しておよそ二十五年の歳月が経た今も、この木々達が我々を迎えてくれる、さわやかな気分だ。

昔の時代とオーバーラップさせながら歩くうちに、ハタと気がついた。何気なく歩いていると、おそらく誰もが気がつかないであろう。それぐらい昔からそのような造りになっていたのかの



旧 玄 関 周 辺

ように、それは建っている。私が六年間通った旧本館（一号館）である。なんと玄関と下駄箱通用口が忽然と姿を消して、教室に変わってしまったているのだ！

早速中に入ってみると、下駄箱であった所は特別教室Ⅰという掲示がされておられ、玄関はというと準備室Ⅰ、旧事務室は準備室Ⅱというように、様変りをしている。旧職員室は二年前にⅠL教室（語学練習室）に変わり、私にとつて歩くのも恐ろしい存在であった一号館ⅠFのイメージが随分と違っている。でも只ひとつ、そこに昔のままの部屋があった。園長室である。何かホッとした気持ちになるのは不思議だ。そういう複雑な気持ちを抱きながら管理棟にある事務室へ足を運び、取材した。

全館冷暖房完備 …… 予算費用約六千五百万円 …… 二ヶ年計画で行うとの事である。工事着工は夏休み期間中で、本年度は一号館、次年度が残りという様に、生徒の勉学の妨げにならない

いよう配慮されている。

「ナヌツ?!」これで驚くなかれ、寮はすでに昨年度冷暖房化済みとの事。

中、高校の冷暖房設備は県下、いや全国でも数校と聞くが、時代の流れを先取りした素晴らしい計画である。我々の頃はというと、あのプレハブ造り校舎で蟬の鳴き声を聞きながら、下敷を



旧プレハブ校舎跡に建つ真新しいクラブハウス

うちわ代わりに、暑さと汗の格闘。冬は冷たさでかじかんだ手をズボンのポケットに入れ、今ハヤリの使い捨てカイロもなく、ハクキンカイロで頑張ったものだ。

「昔のことを言う」と笑われるかもしれないが、とにかく生徒諸君はこの素晴らしい環境で一段と勉学にいそしんで欲しい。（本当は、これだけの環

境が整えば、勉強せざるを得ないので、私自身にとっては昔でよかったと安心してゐる。）

これらの冷暖房工事と並行して、一号館、二号館がかなり老朽化しているので、同じ二ヶ年計画で補修工事を行われる予定である。

補修する箇所は、屋上、壁、床、窓といった所で、具体的には、屋上の防水およびキ裂補修、壁は塗り替、床はPタイルからフローリングへ、窓はスチールサッシからアルミサッシへと行った工事です。これらの補修工事予算は約二億円だそうです。我々卒業生にとつて、母校の環境がこのように整備されていくのは大変嬉しく、誇りに思っています。

記事取材を終えて帰路車中で考えたのだが、白陵を訪れて、いつもさわやかな、心地よい気持ちで帰るのは何故だろうか？

それは素晴らしい環境と先生、事務所の方々のお蔭もあるが、生徒諸君一人一人のすがすがしい挨拶があるからであろう。この伝統はいつまでも続けて欲しい。生徒諸君！お願いします。

文責 森崎

平成4年大学入学試験合格者数

国公立大学				
大学名	2年	3年	4年	
東京大	30	28	22	
京都大	14	22	8	
一橋大		3	3	
大阪大	16	17	18	
北海道大	3	1	12	
東北大	4	7	4	
筑波大	1		2	
名古屋大	1	1	1	
九州大	2	2	3	
神戸大	13	15	10	
岡山大	8	3	4	
広島大	1	2	5	
防衛医大	6	6	7	
京都府医大	3		2	
大阪市大	3	6	5	
その他	41	53	53	
合格者数 (内医学部)	146 (27)	166 (21)	159 (27)	
対卒業生国公立大合格率	84%	95%	88%	

私立大学				
大学名	2年	3年	4年	
早稲田大	33	21	30	
慶應大	25	37	14	
上智大	1	5	3	
中央大	4	1	1	
東京理大	4	12	7	
青山学院大	2	1	2	
関西学院大	16	16	19	
関西大	15	12	17	
同志社大	14	17	15	
立命館大	6	9	9	
甲南大	3	3	7	
大阪医大	2	1	3	
愛知医大	2	1		
兵庫医大	3		2	
大阪薬大	1	1		
神戸女子薬大	2	1	1	
その他	31	23	34	
合格者計 (内医学部)	164 (18)	161 (6)	164 (8)	

白陵会役員名簿

役名	回	氏名	役名	回	氏名
会長	3	沼田好道	〃	20	山内正嗣
副会長	1	森本勝行	〃	21	河合恵介
〃	3	天野泰文	〃	21	中谷泰健
〃	6	上田喜裕	〃	22	新田智弘
理事	2	川副義文	〃	23	三木健史
〃	2	名倉正明	〃	23	中里寛
〃	2	湖中明憲	〃	24	奥本光廣
〃	3	神吉裕資	〃	24	藤原省悟
〃	9	貞広始	〃	25	多根正明
〃	10	吉田達哉	〃	26	池田宗弘
〃(会計)	10	加藤雅宣	〃	27	山田将義
〃(書記)	10	下村康夫	校内幹事	1	芳木健憲
〃	12	奥野昌三	〃	2	大内義博
会計監査	6	大崎章快	〃	3	長濱憲雄
〃	15	町田直隆	〃	3	黒田洋
常任幹事	1	伊藤達也	〃	4	原田正和
〃	1	正井和野	〃	6	福井孝昌
〃	4	鎌田芳寛	〃	11	小宮一貴
〃	4	森崎晴友	〃	11	宮崎陽太郎
〃	5	塩崎育男	〃	12	畔上昇
〃	7	萩本義郎	〃	12	山口透
〃	8	山戸敏彦	〃	12	中村大吾
〃	8	黒川仁彦	〃	14	久保博彦
〃	9	中沢賢悟	〃	15	村上幸生
〃	11	志方正彦	〃	15	西善弘
〃	12	若松修	顧問		三木一正
〃	13	水田堅	〃		八木誠造
〃	14	片山安孝	〃		濱田忠彦
〃	16	谷口泰司	〃	1	遠山寛
〃	17	岡野清和	〃	1	黒坂康夫
〃	18	秋田直樹	〃	1	黒川芳一
〃	19	牛尾英樹			

新企画OB・Jr.のための白陵受験対策講座「中学受験入門編」

「生徒に高い目標を持たせる真面目な校風」が伝統の我が母校も、一番わかりやすい東大・京大をはじめとする近年の目覚ましい大学合格実績により、中高六か年一貫教育の私学を目指す受験生父母の間では、今や全国屈指の「難関進学校」として注目を集めています。このような風潮の中、貴重な青春時代を「白陵」で過ごされた同窓生諸氏の中には、少しわがままに育てたわが子には「白陵」がちょうど合うのではないかとの思いで受験をお考えの方も多いのではないかと思います。

そこで、白陵会ではそのような方々に身近な白陵受験対策をシリーズで企画いたしました。第一回は中学校受験入門編ですが、今後は皆様のご質問や意見を承って、より内容の濃いものにしていきたくと思っておりますので、どうぞ奮ってお便りをくださいますようお願いいたします。(担当 下村)

Q1 なぜ私立中入試は難しいのですか？ その受験対策も教えてください。

今や、殆ど全ての私立中入試は小学校の勉強だけで合格するのは極めて困難であるといわれています。確かに中学校は義務教育ではありますが、私立中進学はある種の「特進コース」への進学を意味しています。また、私立中受験を志す小六生は、各小学校で約十五%前後といわれていますが、これらの小六生に小学校で実施するテストの内容で入試をしていたのでは全く「差」がつかえません。そこで、段階的に「難問」を出題し、「差」を見ようとするのです。しかも、各私立中は競って「単なる優秀生」ではなく、「入校に向けた優秀生」を採用しようとする問題工夫をしているのです。従って、志望校に適した「基礎と応用」・「知識と思考」・「記憶と表現」の錬成に努めるため小四・小五あたりから「進学塾通い」を始める人が多いようです。

Q2 こどもの受験校を親が決めてしまっているのですか？

中学入試は、高校入試・大学入試と違って親が選択し決断しなければいけません。「こどもの自主性」を尊重するといっても、まだ十二歳では自分で判断することは不可能です。親の責任において、「学校の特色」を十分に研究し、「わが子に向けた学校」を選ばれた方が良い結果になるでしょう。そういう意味では、教育理念・教育方針を熟知されている出身校は、学校選択の基準になるのではないかと思います。後は、「こどもに向けた学校」が客観的に判断して「合格できる学校」になるよう「実力」を養成するのみです。

Q3 白陵中の入試問題の傾向はどのようになっていますか？

国語は長文読解力と表現力を問う記述式の問題が多いので慣れておく必要があります。理科は四分野それぞれから

らの出題で、暗記だけでは通用しない実験・観察・グラフなどを利用した思考力を問う形なので、基本事項を幅広く確実に理解しておく必要があります。算数は一次で基本的な問題を解く力を観て、二次では考える力をじっくりと試すという二つの狙いで出題されています。従って確実な計算力と多面的な応用力を養成するために類似問題による十分な準備が必要です。

Q4 卒業生子弟の恩典はないのですか？

残念ながら、全くありません。文字どおり白陵の教育方針に則った、残酷なくらいにクリンでフェアな「学力検査徹底重視の入試」が行われています。姉妹校岡山白陵においても同様です。「実力」により「合格」を勝ちとる「勝負度胸」をつけるため、事前には十分な「作戦」を練って挑戦してください。

Q5 入試説明会等の日程を教えてください。

保護者対象入試説明会 十一月 一日(日) 午前十時
文化祭 九月 六日(日)
運動会 九月十五日(敬老の日) 雨天順延
学校見学を兼ねて是非この機会に母校をお尋ねください。

Q6 白陵の来年度入試日程及び過去の入試結果を教えてください。

学校にお尋ねした結果は、次の表の通りです。入試要項・願書等の請求及び詳細については直接学校事務室へお問い合わせください。

平成5年度生徒募集概要(予定)

	白陵高等学校	白陵中学校
募集人員	2学級90名(男女)	3学級105名(男子のみ)
学力試験科目	国語・数学・英語	国語・算数・理科
出願期間	自平成5年2月1日(月)至平成5年2月12日(金)(日・祝日を除く)	自平成5年2月1日(月)至平成5年2月20日(土)(日・祝日を除く)
試験期日	平成5年2月15日(月)	平成5年3月1日(月)
合格発表	入試翌日午後1時30分	入試翌日午後1時30分
出願費	受験料 15,000円 専願予納金 30,000円	受験料 15,000円
入学金	150,000円	150,000円
出願場所	白陵高等・中学校	

◆過去3カ年の入試状況

白陵中学校					
年度	募集人員	応募者数	合格者数	競争率	合格最低点
平成4年	105(男)	348	116	3.0	162
〃(後期)	若干名(男)	57	9	6.3	196
平成3年	105(男)	376	122	3.1	166
平成2年	105(男)	289	128	2.3	134

白陵高等学校 ()内は女子					
年度	募集人員	応募者数	合格者数	競争率	合格最低点
平成4年	90(男女)	187(62)	94(34)	2.0	134
平成3年	90(男女)	235(66)	94(32)	2.5	158
平成2年	90(男女)	208(50)	94(30)	2.2	154

白陵会ニュース

★平成四年版 白陵会名簿完成

只今好評発売中！ お申込はお早めに

名簿発行に際しましては格別のご協力を賜り有難うございました。前回からの住所変更が予想以上に多く、正確を期すための再調査に手間取り、発刊が遅延いたしました。この度ご予約頂いた方々への発送もようやく完了いたしました。不手際の数々を深くお詫び申し上げます。

なお、印刷冊数には若干の余裕を見込んでおりますので、新たに購入を希望される方はお早めに左記の要領にてお申込みください。

■名簿内容 一期生～二十七期生までの会員を各期毎に五十音順に配列し、氏名(旧姓)・現住所・現住所電話・帰省先住所・帰省先電話・勤務先・勤務先電話・出身大学を掲載。他に教職員・在校生の名簿及び校舎写真等を収録。

B五判 約四二〇ページ (広告頁含)

■販売価格 一冊 三、五〇〇円 (送料込)

■申込方法 住所・氏名・卒業期生を明記のうえ、現金書留で左記へお申込みください。(販売は同窓会員に限定させて頂きます)

■申込先 〒六七六 高砂市阿弥陀町阿弥陀二二六〇

白陵高等学校内 白陵会事務局 名簿係
電話 (〇七九四) 四七一一六七五

白陵会物故者 (懐んで冥福をお祈りします)

山 本 卓 哉 氏

(十五期生) 平成四年八月死去

白陵会会計報告

平成3年4月～4年3月 (単位:円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 議 費	198,805	会 費	2,695,000
慶 弔 費	22,106	受 取 利 息	360,417
通 信 運 搬 費	762,633	同 窓 会 名 簿 料	2,865,300
印 刷 費	517,140	廣 告 料	552,500
雑 費	50,860	寄 付 金	10,000
支 払 手 数 料	39,640		
次 年 度 繰 越 金	13,180,423	前 年 度 繰 越 金	8,288,390
合 計	14,771,607	合 計	14,771,607

★住所変更の際はご連絡を

就職・結婚・進学等で転宅された場合は、必ず事務局までお知らせください。ご連絡がないと、会報が届けられないほか、次回名簿作成にも支障をきたしますので、ご連絡を必ずお願いします。

なお、今回の名簿で住所不明となっておられる方々のご連絡先をご存知の場合は、お手数ですが一報ください。併せてお願いします。

★育友会長に一期生の八木芳章氏がご就任

最近、年輪的にもちようど中学生・高校生の父親母親となられた創設期の卒業生の中で、ご子弟を母校へ託される方々も増えてきましたが、偶然にも創立三十周年を迎える今年、一期生の八木芳章氏が選ばれて育友会長に就任されました。母校の隆盛に伴い、今後ますます親子二代にわたって生徒会・同窓会・育友会・後援会と幅広く活躍される方々が増えそうです。

編集後記

今回の『Alma Mater 白陵』十一号発行に際しては、同窓会の五年ぶりの名簿発行という大事業がありましたので、企画、原稿集め、編集、校正、発行までのプロセスにおいて、一ヶ月弱しかないという強行日程でした。にもかかわらず、広報委員会一同、チームワークよろしく、各自の担当分野を速やかにこなしていく姿に、非常に感嘆させられ又、嬉しく思いました。

今まで住所不明等による理由で、届かなかつた同窓生諸氏にも、今回の名簿発行により拝読していただけることを委員会一同大変喜んでいきます。これも各期役員の協力の賜と感謝する次第です。

最後になりましたが、大島先生の御逝去に御冥福を祈り、黙禱。(森崎)